



こんにちは。鈴鹿中央総合病院、研修医の服部共樹です。5月の1ヵ月間、この紀南病院で地域医療研修をさせていただきました。

三重県に住んでおきながら、この熊野方面まで生涯を通じて一度も来たことがありませんでした。ほんとに穏やかな、静かな雰囲気を感じました。そして実際にスタッフや患者さんと接してみて、すんなりと私を受け入れてくれる人情には安心しました。

紀南病院での研修を通じて、一人の患者さんの入院から退院、そして退院後の生活まで一連の流れに携わることができて、患者さんの生活背景まで考えたりと学ぶことが多かったと思います。病院外でも訪問看護、木津呂でのタウンミーティングなど地域の方々と接する機会もあり、より深いところまで紀南を感じることができました。素朴な疑問について答えることは難しい。でも勉強になりました。

そして医療から1歩離れて、丸山千枚田での田植え、数多くの温泉、海、滝、おいしい食べ物といった日頃味わえないことを経験でき、心も体もリフレッシュできました。鈴鹿に戻っても元気に働けると思います。最後に、指導医の先生方、病院スタッフや地域の方々、そして同時期に研修した研修医2人に感謝したいと思います。ありがとうございました。

東京大学医学部附属病院研修医の豊田真之です。紀南病院のあるこの地域まで名古屋から電車で4時間ほどかかり、予想以上に遠いところまで来てしまったなと思っていましたが、病院の屋上から見える晴れた日の海と空はとてもきれいな青色で、病院のまわりののどかな雰囲気が非常に印象的でした。

1ヶ月間、内科で研修をさせて頂きましたが、1年目に研修した東京の市中病院では、内科が各専門科に分かれていたので、1人の先生が内科の幅広い疾患を診るというスタイルはとても新鮮でした。紀南病院の先生方は医学知識が豊富で、病棟のカンファでの議論も勉強になる内容が多く、今後の研修に向けてのモチベーションになりました。診療所や訪問看護の見学も、病院の外での医療の仕組みを見ることができて、勉強になりました。

その他、千枚田での田植えや熊野古道散策などの観光も充実しており、楽しく1ヶ月を過ごすことができました。次の研修は大学病院のCCUで、今とは全く違う環境になりますが、頑張りたいと思います。

1ヶ月間ありがとうございました。

はじめまして。東京大学医学部附属病院研修医の吉田由理子です。

紀南病院での研修は大学で過ごしてきた私にとって

『内科』なら何でも診る！診れなきゃあかん！そのためには日々勉強あるのみ。と痛感した日々でした。初めての内視鏡。初めての外来。不安一杯でしたが、患者さんの笑顔とスタッフの方々、そして無知な自分に毎日優しく指導して下さる先生方のおかげで充実した研修生活を送っています。日々成長するように来月も引き続き研修頑張ります。

さて、今月発見した紀南の素敵なおとこ

- ・みんな笑顔で元気。90歳でスタスタ坂を上っていく姿は眩しいくらいです。
- ・ご飯がおいしい。お酒も美味しい。。確実に太るな...
- ・静かで夜もぐっすり。
- ・千枚田で田植えができた！ずっと残しておきたい風景です。終わった後の温泉が格別。
- ・電車が1時間に1本。余裕をもって行動する大切さを学びました。
- ・阿田和ハワイでBBQ。波の音を聞きながらのBBQは幸せでした。



江角  
(学生です)



豊田 服部 吉田

イモリ